

《 障がい者向け教室に関するアンケート 結果報告 》

回答者 7人

1. これまで、視覚障がい者とその他の障がい者を分けて教室運営を行っておりました。
今後の教室運営についてお尋ねします。

【回答結果】

- ① 視覚障がい者とその他の障がい者を別にして教室運営を行う … 2人
- ② 視覚障がい者とその他の障がい者を一緒にして教室運営を行う… 5人

《意見など》

- ・ おかれている身体状況に即した教室運営をするため。
- ・ 別々にする根拠が分からない。
- ・ 障がい者相互の理解が深まり、出会いの機会が増すことは良い。
- ・ 障がいの分野を分けず共に参加することによって、少しでも相互理解に繋がれば良い。
- ・ 視覚障がい者と他の障がい者が分かりあえる機会となる。
- ・ 安全にかかわる配慮は必要。
- ・ お互いが助け合ってふれあっていけたらと思い、いい関係ができれば励みになる。
- ・ 何かを作ったり、体を動かすようなことは講師が2通りの説明をする必要が生じるのでは。
- ・ 講演会（あまり映像を使わないもの）なら点字と墨字の資料の準備を行えば、一緒にできると思う。

2. 現在、陶芸教室、七宝焼教室、ストレッチ体操は、前期と後期で参加者を固定しています。料理教室、民謡教室、社交ダンス教室は、その都度募集を行っています。
陶芸教室や七宝焼教室は、作品の大きさなどで作品が出来上がるまでに時間が左右されるため、固定しておく必要がありますが、それ以外の4教室はその都度、募集を行う方がよろしいでしょうか。

【回答結果】

- ① 今のままでいい … 4人
- ② その都度、参加者を募集するべき… 2人
- ③ 全て、参加者を固定する … 1人

《意見など》

- ・教室に参加される方々が参加しやすいと思われる。
- ・質問で説明されている通り、内容によっては時間を要する教室もあるので、現行のままで良い。
- ・作品等の出来上がる期間、時間があり、今のままで良いと思われる。
- ・陶芸や七宝は何回か続けないと作品を作りにくい。
- ・参加希望者が少なければ他も固定してもいいと思いますが、基本的には門戸を広げる意味ではその都度がいい。
- ・参加したい人があれば、たくさんの人に経験してもらった方が良い。
- ・いずれも半年間程度、参加者を固定することにより、教室での技能レベルの向上、教室仲間での親交の高まりが期待できる。

3. 現在の教室以外に実施した方が良いと思われる、障害者向け教室がございましたら、御記入の程よろしくお願いします。

《意見など》

- ・教室運営体制が整うのであれば、より多くの教室を実施していただきたい。
- ・フラダンス、囲碁、リズム体操。
- ・もしできることならば、障がいのある方が働いておられる（生き生きと活躍、活動されている）ところを見る機会があれば、本人は勿論、保護者の方も意欲をもっていただけると思う。
- ・文化系や運動系は、健康にもいいと思い、カラオケは声を出して、フラダンスは身体を動かして、そういう教室がいいと思う。
- ・総合福祉会館が開館されて間もない頃、障がい者向けではありませんが、市民講座のような連続講座で私はてんかんについて学習し、その後、我が子の支援に随分役立った。
- ・障がい者だけでなく、障がい児の介護者対象のケアラー講座のようなものがあるのもいいと思う。

4. 自由意見欄

- ・コロナ流行下、教室参加人数が減少している。今後の各教室の在り方を検討して欲しい。
- ・障害者向け教室事業が社会参加のきっかけとなり、障がい者の引きこもりが減る事を願って参加支援をお願いする。

以 上